

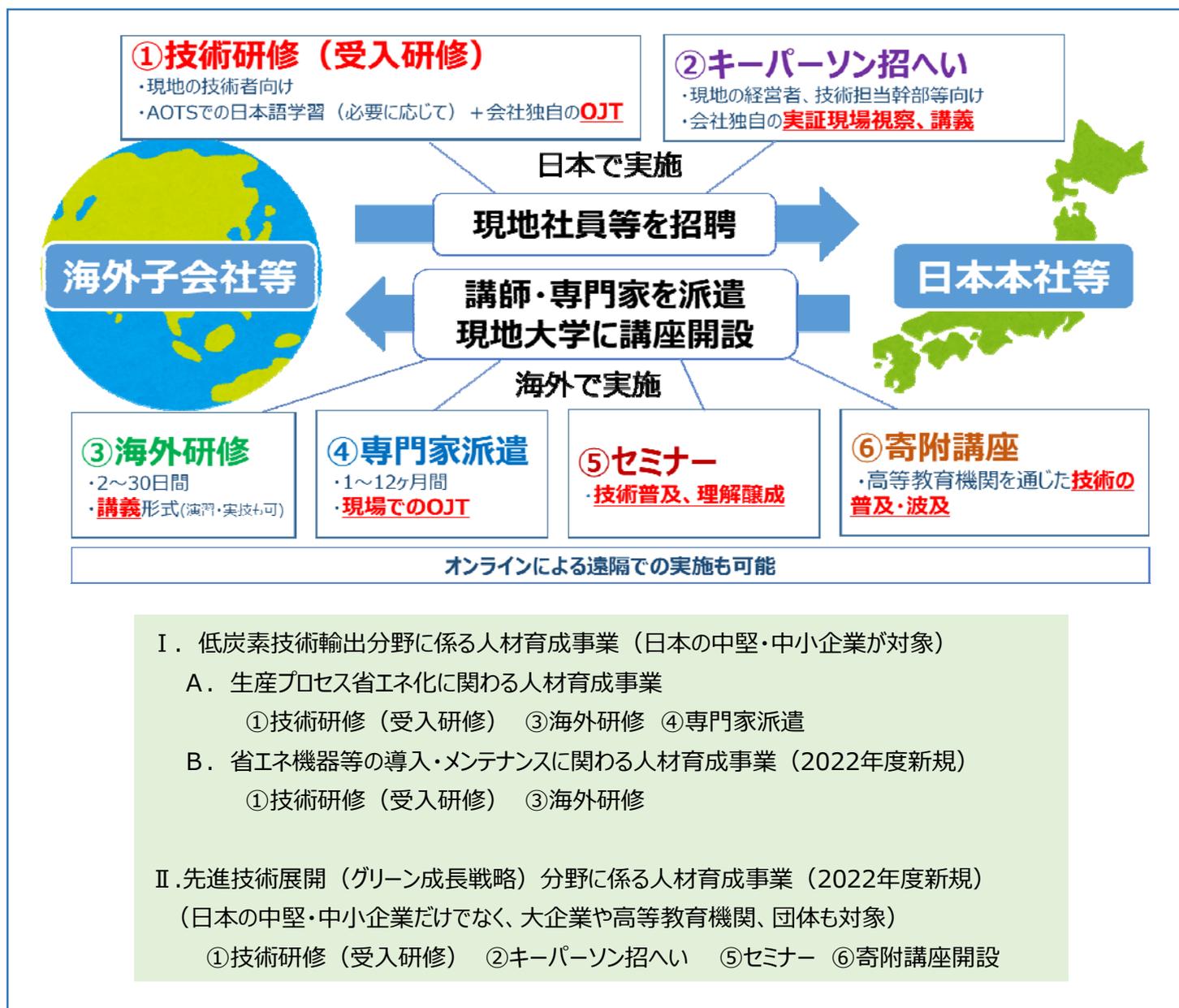
低炭素技術を輸出するための人材育成事業



【事業目的】

アジアの国・地域等（中東含む）の外国人材を対象に、①日本企業が有する省エネ技術の海外移転を通じて本事業対象国の産業分野でのエネルギー利用の効率化・CO2排出削減をすすめるとともに、②カーボンニュートラル実現に必要な先進的技術の普及のためのイベント等を通じて社会実装に向けた現地人材育成・二国間協力強化などの環境整備に取り組むことにより、アジア新興国等と共にカーボンニュートラルを実現していくことを目的とします。

【事業内容】



【対象国・地域】 アジアの国・地域等（中東を含む）

AOTS 検索

お問合せ先

[募集要項はこちら](https://www.aots.jp/hrd/crtp-new)

一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)（東京都足立区千住東1-30-1）

◆受入研修・海外研修・専門家派遣・セミナーについて

研修・派遣業務グループ TEL: 03-3888-8221 E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

◆寄附講座について

寄附講座グループ TEL : 03-3888-8238 E-mail: indus-acad-collab-pg@aots.jp

目的	スキーム	対象分野	補助率
現地工場の人材を育成し 生産プロセスの省エネ化を 図りたい	①技術研修 (受入研修)	自動車/産業機械/電気機械分野において 製造プロセスに関わる外国人エンジニア等の育成	中小企業 2/3
	③海外研修		中堅企業 1/2
	④専門家派遣		
i.省エネ機器 ii.産業用ロボット・FA機器 導入・メンテナンスに係る 人材を育成したい	①技術研修 (受入研修)	i 省エネ機器： 先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金「指定設備導入事業」の補助対象設備等、日本企業のエネルギー効率の高いユーティリティ設備、生産設備の導入、メンテナンスを担う外国人エンジニア等の育成	中小企業 2/3
	③海外研修	ii 産業用ロボット、ファクトリーオートメーション： 日本企業の産業用ロボット、日本のSier企業等によるファクトリーオートメーション(工場のスマート化)について、工場等への導入またはメンテナンスを担う外国人エンジニア等の育成	中堅企業 1/2
グリーン成長戦略に関わる 脱炭素技術等(新技術・先進 技術)の導入促進を図りたい 普及、理解促進を図りたい	①技術研修 (受入研修)	グリーン成長戦略に示される産業分野やAETI(アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ)の枠組みで策定されるエネルギー・トランジション・ロードマップにおいてとりあげられる産業分野に基づく脱炭素関係技術等	高等教育機関 3/4 公益法人 中小企業 2/3 一般法人 中小企業 1/2 以外の企業
	②キーパーソン 招へい	(例)洋上風力・太陽光・地熱産業/水素、燃料アンモニア産業/次世代熱エネルギー産業/原子力産業/自動車・蓄電池産業/半導体・情報通信産業/航空機産業/カーボンリサイクル・マテリアル産業/次世代電力マネジメント等	
	⑤セミナー	上記分野における ①新技術/先進技術の導入に中心的役割を担う技術者を日本に受け入れて行う技術研修 ②経営者や技術担当幹部等のキーパーソンを日本に招へいし行う、新技術等の説明や実証現場の視察等	
	⑥寄附講座	⑤日本企業等の脱炭素技術の理解醸成や普及・展開に資することを目的とした現地セミナーの開催 ⑥日本の企業や団体、大学等で研究・実証等が進められている脱炭素技術に関する寄附講座を現地高等教育機関等で開設	

対象経費

①技術研修(受入研修)	①渡航費 ②滞在費(宿舍費、食費、雑費) ③海外旅行保険 ④実地研修費 ⑤実地研修資料翻訳費 ⑥国内移動費
②キーパーソン招へい	①渡航費 ②滞在費(宿舍費、食費、雑費) ③海外旅行保険 ④講師謝金 ⑤通訳謝金 ⑥講師通訳等関係者旅費 ⑦国内視察費 ⑧資料作成費 ⑨機材調達・環境等整備費 ⑩消耗品費 ⑪施設借上費
③海外研修	①講師謝金 ②通訳謝金 ③講師通訳等旅費 ④研修会議費 ⑤工場視察費 ⑥施設等借上費 ⑦教材費 ⑧機材調達・環境等整備費 ⑨研修消耗品費 ⑩研修生関係費(渡航費、日当、宿泊費) ⑪資料機器輸送費 ⑫現地運営関係費(研修協力謝金、諸費)
④専門家派遣	①渡航費 ②渡航雑費 ③滞在費 ④支度料 ⑤海外旅行保険 ⑥技術協力費
⑤セミナー	①講師謝金 ②通訳謝金 ③講師通訳等旅費(渡航費、日当、宿泊費、及び管理員の事前調整・セミナー実施運営のための出張の渡航費、日当、宿泊費) ④会議費・施設借上費 ⑤資料作成費 ⑥機材調達・環境等整備費 ⑦消耗品費 ⑧資料機器輸送費 ⑨現地運営関係費 ⑩外注費
⑥寄附講座	①主任講師謝金 ②講師技術料 ③教材費 ④通訳費 ⑤講師通訳等旅費 ⑥施設等借上費 ⑦会議費 ⑧資機材費 ⑨講座実施諸費 ⑩国内講座受講者旅費(旅費) ⑪遠隔機材調達・環境等整備費 ⑫遠隔指導導入支援費 ⑬開設校協力謝金 ⑭講座運営管理旅費 ⑮外注費